

学校教育目標一次案への考えをまとめておいてください。

学校教育目標の一次案が、教務部、生徒指導部、保健部からそれぞれ出されています。皆さんには、詳しく協議する時間がまだ設定できず申し訳なく思っています。

今号では、一次案についての私の考えを記します。

知 進んで学び、人と学ぶ

教務部では、児童の実態を、「素直で話をよく聞き理解もある程度高いが、自ら課題を設定し、調べ、発表するような学習は意欲的ではない」と分析しています。そこで、新学習指導要領が求める”対話的で深い学び”ができる児童を育成するためにこの目標を設定しました。

「進んで学ぶ」とは、主体的に取り組む、自ら考え判断することを意味し、「人と学ぶ」とは、社会、地域、友達に自分から関わり、友達と話し合いながら学びを深めることを意味しているとしています。

本校児童は学力状況調査においては平均以上の学力は要していますが、受動的な学習態度が目立ち、主体的な学びについては大きな課題があることは先生方も感じておられると思います。また、コミスクの取組にも課題があり、児童の社会性を広げるためにももっと多くの教員以外の方とも交流し学ぶ必要があります。

一次案は、このような現状から考えられた目標であり、今後の授業改善の方向性を明確に示していると思います。

徳 あたたかい言葉で支え合い

現在、本校の児童の生徒指導は全体には安定しています。その中で、生徒指導部は、さらに児童の自己有用感、自尊意識の向上を目指して、あたたかい言葉を土台とした集団づくりを目標として設定しました。

個々の児童をみると、心ない言動は多く

見られ、それにより傷つく児童もいます。保護者アンケートでもいじめ対応の項目の評価が他より低いのも事実です。

現在の挨拶やいじめスローガン等の「言葉」に焦点を当てた取組を一層進めるためのこの目標は、良城だからこそ、今だからこそこの目標で、的確な目標だと思います。

もちろんこれまでの良城しぐさは本校の土台ですから、この土台の上にさらにあたたかい言葉による取組を積み上げていきましょう。

体 心身ともにたくましい

保健部では、児童の現状を「知識はあるが、体や生活の改善には自らは取り組もうとはしていない、もっと自分の体を大切にしてほしい、メンタル面の弱さが運動面の弱さにも表れている、体力的に踏ん張りがきかない児童もいる」と分析しています。

一次案は、課題が多岐にわたることを総合的に踏まえての文言となりました。

しかし、この文言では今後の「改善の取組の方向性」が見えにくいのではないかと思います。

保健部では、現在、「みずから守る心と体」というテーマで取組を進めています。このテーマを基本に再検討をしてもらっています。

3案をつなげると以下のようになります。

ふるさと吉敷を愛し、進んで学び、人と学び、あたたかい言葉で支え合いながら、心身ともにたくましい児童を、地域とともに育成する。

一次案は文字通り最初の案です。何よりも学校教育の方向性をみんなで考え共有する「過程」が大切です。

先生方一人ひとりも、この一次案に対する意見をまとめておいてください。